



UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するかを確認してください。

各スイッチの設定は正しく行われていますか？

MEDIA切替スイッチの設定を確認してください。PORT1で、BNCポートを使用して、10BASE2の接続を行う場合は「BNC」に、AUIポートを使用して、10BASE5の接続を行う場合は「AUI」に設定します。

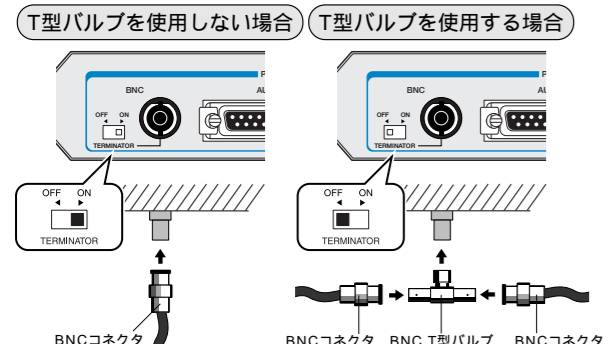
MDI/MDI-X切替スイッチの設定を確認してください。PORT1の10BASE-T/100BASE-TXポートを使用し、リピーターやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のMDI/MDI-X切替スイッチを「=HUB(MDI)」に設定してください。PORT1の10BASE-T/100BASE-TXポート同士をカスケード接続する場合は、一方を「=HUB(MDI)」に、もう一方を「X(PQ MDI-X)」に設定します。

通信速度 / 通信モードの設定を確認してください。10BASE-T/100BASE-TXポートは、SPEED/DUPLEX切替スイッチを使用して、接続先の機器(ポート)と同じ通信速度/通信モードになるように設定してください。オートネゴシエーションとFull Duplex固定の両方をサポートしている機器(ポート)と本製品をFull Duplexで通信させる場合は、接続先の機器(ポート)をFull Duplex固定に設定してください。接続先の機器(ポート)がオートネゴシエーションのみをサポートしている場合は、DUPLEX切替スイッチを「Half」に設定します。

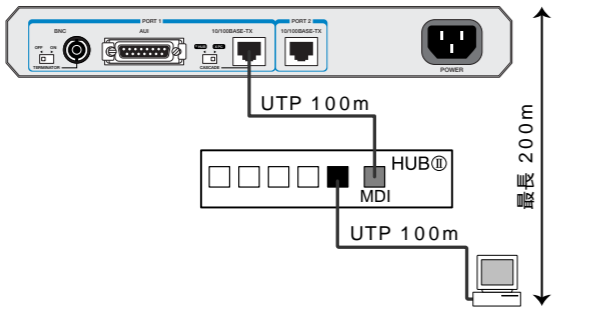
100BASE-FXポートの通信速度は、SPEED切替スイッチの設定に関わらず、100Mbps固定となります。通信モードは、DUPLEX切替スイッチを使用して、接続先の機器(ポート)に合わせて「Full」か「Half」に設定します。

BNC/AUIポートは、SPEED/DUPLEX切替スイッチの設定に関わらず、通信速度は10Mbps固定、通信モードはHalf Duplex固定となります。

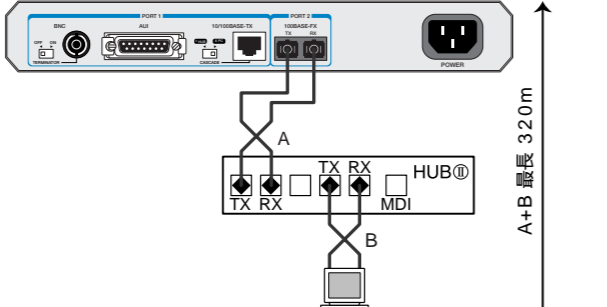
TERMINATORスイッチの設定は正しいですか？シンワイヤークケーブルの両端にBNC用ターミネータが正しく接続されているかどうか、また、両端のターミネータ以外に余計なターミネータが接続されていないかどうか確認してください。TERMINATORスイッチが「ON」に設定されている場合は、50の内蔵ターミネータがONの状態となりますので、ターミネータを接続する必要はありません。シンワイヤークケーブルのBNCコネクタを直接BNCポートへ接続します。BNCポートにT型バルブを用いて、2本のシンワイヤークケーブルを接続する場合は、内蔵ターミネータをOFFの状態にする必要があります。その場合は、TERMINATORスイッチを「OFF」に設定し、それぞれ50のターミネータを接続した2本のシンワイヤークケーブルをT型バルブに接続してください。



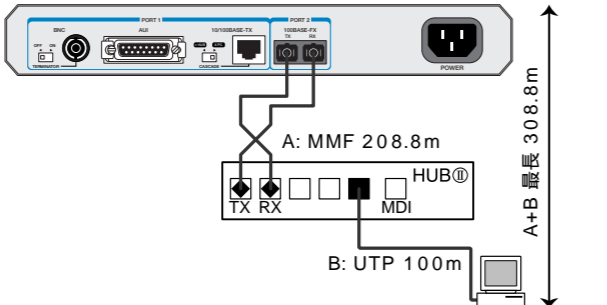
100Mリピーター使用時の最大ケーブル長  
2セグメントの最大ケーブル長(Class IIリピーター1台)  
Class IIリピーター1台を使用した構成で、2セグメントとも100BASE-TXの場合、最大ケーブル長は200m以内となります。



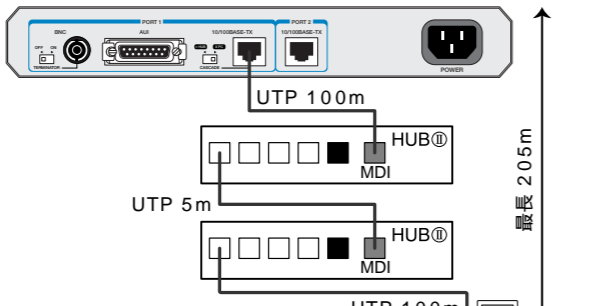
Class IIリピーター1台を使用した構成で、2セグメントとも100BASE-FXの場合は、最大ケーブル長(セグメントA + セグメントBの合計)が320m以内となります。



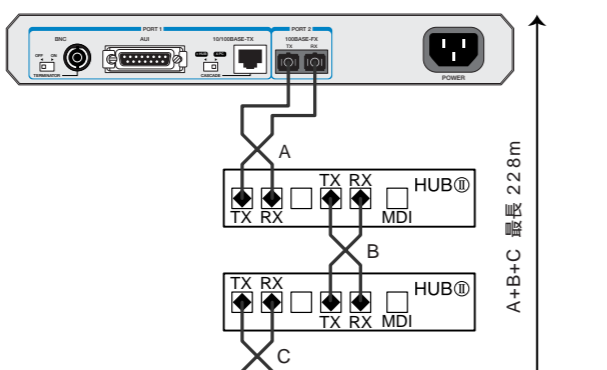
Class IIリピーター1台を使用した構成で、各セグメントに100BASE-TXと100BASE-FXが混在している場合は、最大ケーブル長(セグメントA + セグメントBの合計)が308.8m以内となります。100BASE-TXのセグメントBに最大100mを使用した場合、308.8m - 100m = 208.8mが100BASE-FXで使用できる最大ケーブル長となります。



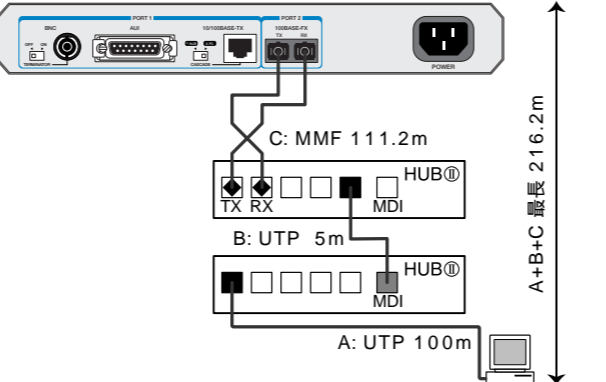
3セグメントの最大ケーブル長(Class IIリピーター2台)  
Class IIリピーター2台を使用した構成で、3セグメントとも100BASE-TXの場合、最大ケーブル長は205m以内となります。リピーター間の接続は、最大ケーブル長が5m以内となります。



Class IIリピーター2台を使用した構成で、3セグメントとも100BASE-FXの場合は、最大ケーブル長(セグメントA + セグメントB + セグメントCの合計)が228m以内となります。



Class IIリピーター2台を使用した構成で、各セグメントに100BASE-TXと100BASE-FXが混在している場合は、最大ケーブル長(セグメントA + セグメントBの合計)が216.2m以内となります。100BASE-TXのセグメントAに最大100m、セグメントBに5mを使用した場合、216.2m - 105m = 111.2mが100BASE-FXで使用できる最大ケーブル長となります。



**製品仕様**

サポート規格  
IEEE802.3/IEEE802.3u

100BASE-FX  
(マルチモード光ファイバー SC/ST型コネクタ)  
波長 : 1300nm  
送信光パワー : -20.0dBm ~ -14.0dBm  
受光感度 : -31.0dBm以下

転送モード  
ストア&フォワード

電源部  
定格入力電圧 : AC 100-240V  
入力電圧範囲 : AC 90 ~ 265V  
定格周波数 : 50/60Hz  
最大入力電流 : 0.5A  
平均消費電力 : 17W (最大24W)  
平均発熱量 : 15kcal/h (最大20kcal/h)

環境条件  
保管時温度 : -20 ~ 60  
保管時湿度 : 95%以下(ただし、結露なきこと)  
動作温度 : 0 ~ 40  
動作湿度 : 80%以下(ただし、結露なきこと)

外形寸法(突起部含まず)  
: 263(W) x 179(D) x 38(H)mm

重量  
: 1.5kg

アドレス登録数  
: 8K

アドレス保持時間  
: 300 ~ 600sec

メモリ容量  
: 512K bytes

適用規格  
安全規格 : UL1950 CSA C22.2 No.950  
EMI : VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報記述装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

**保証**

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

保証の制限  
本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

**ユーザーサポート**

障害回避などのユーザーサポートは、別紙の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接のお問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話によるお問い合わせよりも早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター  
Tel: 0120-860-772  
月～金(祝・祭日を除く)10:00-19:00  
土(祝・祭日を除く)10:00-17:00  
Fax: 0120-860-662  
年中無休 24時間受け付け

**安全のために**

**警告** 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

- 分解や改造をしない**  
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。
- 雷のときはケーブル類・機器類にさわらない**  
感電の原因となります。
- 異物は入れない 水は禁物**  
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 表示以外の電圧では使用しない**  
火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。
- 正しい電源ケーブル・コンセントを使用する**  
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない**  
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

**調査依頼書のご記入にあたって**

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙に書ききれない場合は、別途プリントアウトなどを添付してください。

使用しているハードウェアについて

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、リビジョンは、製品の底面に貼付されているバーコードシール(シリアル番号シール)に記載されています。

(例)

お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に再現できるように記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

**おことわり**

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 1999 アライドテレシス株式会社

**商標**

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

**マニュアルバージョン**

1999年10月 Rev.A 初版

**必ずお守りください**

- 湿度の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所
- 取り扱いはていねいに  
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。
- 電源ケーブルを傷つけない  
火災や感電の原因となります。電源ケーブルやプラグの取扱上の注意:  
・加工しない、傷つけない。  
・重いものを載せない。  
・熱器具に近づけない、加熱しない。  
・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 光源をのぞきまない  
目に障害が発生する場合があります。光ファイバーケーブルのコネクタ、ケーブルの断面、製品本体のコネクタなどをのぞきまないと。
- 清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。
- 機器は、乾いた柔らかい布で拭く  
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきん)をご使用のときは、その注意書に従ってください)
- シンナー類禁止

**アライドテレシス株式会社**

# 調査依頼書( CentreCOM<sup>®</sup> FS702TXL/FCL/FTL )

年 月 日

## 一般事項

1. 御社名:

部署名:

ご連絡先住所: 〒

TEL: ( )

ご担当者:

FAX: ( )

2. 購入先:

購入先担当者:

購入年月日:

連絡先(TEL): ( )

## ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号(S/N)、リビジョン(Rev)

製品名: CentreCOM FS702TXL・FS702FCL・FS702FTL

(ご使用の製品名を で囲んでください。)



S/N \_\_\_\_\_ Rev \_\_\_\_\_

2. お問い合わせ内容

別紙あり

別紙なし

設置中に起こっている障害

設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

別紙あり

別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。